

豊かで 伸びやかに そしてたくましく



スカウト みやぎ

No. 14

発行
日本ボーイスカウト宮城県連盟
発行日
平成19年6月30日



平成19年度年次総会
於 蔵王ハイツ

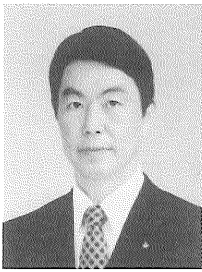
平成19年度年次総会開催

総務委員長 菅野 五郎

5月12・13日の両日、平成19年度日本ボーイスカウト宮城県連盟年次総会が第8回日本ジャンボリー一等、数次のジャンボリー開催地である仙南地区、蔵王町・蔵王ハイツを会場に開催されました。

スカウト運動創始100周年の総会は国旗儀礼に始まり、村井嘉浩宮城県連盟長式辞に続き、年度内の活動・進歩等に対する各種褒状、併せて日本連盟・県連盟からの各種有功章が贈られ、引き続き出席ご来賓を代表して宮城県教育庁 生涯学習課課長の 武田 功様より祝辞をいただきました。また、祝電も披露されました。

総会議案の、平成18年度事業報告・収支決算報告と承認を求める件他、褒状等9件の議案審議は、大河原第1団堀江一男団委員長、議長のもと進められ平成19年度基本方針『よりよいスカウティングをより多くの青少年に』と人事案件等が原案通り承認。『君が受け継いだときより、少しでもこの世の中を良くするようにしよう（連盟長文）』のメッセージを重く受け止めて更なる運動を進める事として二日間にわたる、緑豊かな蔵王との集会はおおきな盛り上がりの中終了しました。



平成19年度ボーイスカウト宮城県連盟総会式辞

本日、風薫るさわやかな季節を迎えた蔵王山麓にて、平成19年度ボーイスカウト宮城県連盟年次総会を挙行できますことは大変喜ばしいかぎりであります。皆様方には宮城県のボーイスカウト活動の発展のため、日々御努力をいただき、心から感謝申し上げます。

また、本日の表彰の栄に浴されました皆様方には、青少年の健全育成のため、献身的にボーイスカウト活動を支援していただいておりますことに、心から感謝と敬意を表します。

さて、今年はベーデンパウエル卿が英国ドーセット州ブラウンシー島で実験キャンプを実施して100年目であり、ボーイスカウト運動にとって大きな節目となる年です。

100年前に、ベーデンパウエル卿が、野外活動を通じて、自然の摂理を理解し、心身を鍛え、仲間と協力して生きていく術を青少年に身につけさせようとした、この12日間のキャンプの意義は古くなるどころか、100年の時を経て一層輝きを増しております。

指導者の皆さんには、これからも私たちの歴史と伝統ある活動に自信をもって取り組み、青少年をたくましく育てていって欲しいと思います。

そして、スカウトの皆さん、この記念すべき機会にベーデンパウエル卿が最後の手紙に書いたメッセージである「Try to leave this world a little better than you found it」、「君が受け継いだときより、少しでもこの世の中を良くするようにしよう」という言葉の意味をもう一度考えてみて下さい。

皆さんがこのスカウト運動で悩んだときの道しるべとなることと思います。この精神を引き継いで、立派なスカウトに成長する実り多い一年となることを期待しております。

本年を100年前にベーデンパウエルが目指したスカウト運動の原点をしっかりと見つめ直す好期とし、私たちの取り組みの意義と目指すべき方向をその都度確認しながら、これからの飛躍を見通した活動を展開していきましょう。

最後に、本日ご参会頂きましたボーイスカウト宮城県連盟の関係指導者、並びにスカウト、そしてご臨席いただきましたご来賓の皆様の益々の弥栄を祈念して総会挨拶といたします。

平成19年5月12日
日本ボーイスカウト宮城県連盟
連盟長 村井 嘉浩

日本ボーイスカウト宮城県連盟役員

連盟長	村井嘉浩	(学識経験)		名誉会議議員	堀江一男
副連盟長	鈴木久直	総務委員会委員長	菅野五郎		大久保孝
	郷家照夫	組織拡張委員会委員長	菊池英喜		中鉢 宏
理事長	千田好男	広報委員会委員長	堀越祐寿		色川新治
副理事長	芳賀文蔵	広報委員会副委員長	渡辺七郎		布施孝之
理事		野営行事委員会委員長	大久保晃男		日下 清
(地区代表)		野営行事委員会副委員長	横沢 繁		安達清守
仙南地区委員長	橋元 健	ﾌﾞﾛｯｸｽ委員会委員長	新沼寿一		山田清八
仙台地区委員長	井藤 晃	ﾌﾞﾛｯｸｽ委員会副委員長	大丸正則		鯉谷正幸
東部地区委員長	松原健二	ﾌﾞﾗｳﾝｼｰｽ委員会委員長	村上佳司		大場 卓
石巻地区委員長	菊池康博	事務局長	山田洋司	相談役	結城時男
県北地区委員長	片寄 稔	監事	佐藤善久		郷家智道
			野中孝三	先達	佐々木重兵衛
		県コミッショナー	千葉義博	長老	横谷善作
		県副コミッショナー	高橋徳夫	顧問	愛知治郎
			高橋 譲		中野正志
			中橋 邦		斎藤正美
		トレーニングチームディレクター	佐藤友秀		(敬称略)

(任期：平成21年度年次総会終了まで)

ボーイスカウト宮城県連盟事務局

〒981-0915 仙台市青葉区通町一丁目6-9 宮城県通町分庁舎内(1階)

TEL/FAX 022-234-2359 事務局職員 大山 由美子

平成19年度県連盟表彰

県連盟褒状(精励スカウト)

富士章スカウト

春日沙和 (名取第1団)

菊スカウト 長谷部英寿 (仙台第12団) 東海林翔平 (仙台第37団)

沖田真一 (仙台第37団) 沼崎隆史 (仙台第37団) 斎藤佑太 (仙台第37団)

大友淳 (仙台第41団) 目黒沙綾 (名取第1団) 大友悠生 (名取第1団)

庄司沙也夏 (名取第1団) 小泉郁三 (名取第1団) 菅井信志 (仙台第41団)

菊地秀之 (白石第1団) 菅野真光 (白石第1団) 大場剛 (白石第1団)

渡邊英資 (泉第1団) 神馬脩平 (泉第1団) 芳賀隆則 (仙台第12団)

竹丸直翔 (仙台第12団) 桑折和宗 (仙台第12団) 菊池博尊 (名取第1団)

菅野宏幸 (岩沼第1団) 西田晴美 (仙台第11団) 小沢史明 (仙台第41団)

遠藤篤志 (仙台第28団) 乙訓優之介 (仙台第28団) 足利航 (仙台第1団)

東海林司 (仙台第1団) 瀬島粹仁 (名取第1団) 大久保開 (名取第1団)

県連盟表彰

特別有功章 鈴木俊聖 (石巻第6団 団委員)

有功章

草間純一 (角田第1団 CS 隊長) 毒島孝佳 (角田第1団 VS 隊長)

油井政之 (角田第1団 BS 隊長) 清水峰子 (仙台第12団 副団委員長)

横堀満男 (仙台第41団 団委員) 大沼繁弘 (仙台第45団 育成会長)

菅原誠一郎 (仙台第45団 副団委員長) 松本公一 (石巻第2団 BS 隊長)

佐藤早苗 (石巻第6団 VBS 隊長) 太田耕三 (迫第1団 団委員)

県連盟有功章【追贈】 南条 敦 (仙台第30団 VBS 隊長)

日本連盟

スカウティング褒章 (平成19年5月26日 受章)

郷家智道

功労賞 (平成19年5月26日 受章)

た か章 堀越祐寿 県連盟理事 (広報委員長)

た か章 野中孝三 前県連盟副コミッショナー

かっこう章 芳賀文蔵 県連盟副理事長

かっこう章 菊池康博 石巻地区副協議会長

感謝状

井藤 晃 日本連盟トレーナー 退任

団50年章 (平成19年度 受章)

仙台第27団

仙台第28団

(敬称略)

親子アウトドアキャンプ

宮城県連盟広報委員 柿沼 富雄

ボーイスカウト運動創始 100 周年記念事業として、快晴の 5 月 4 日、松島自然の家を会場に親子アウトドアキャンプ（ポケットキャンプ）が一般募集で参加された 7 組 25 名と、スタッフ 20 名で開かれた。

石巻・矢本・塩釜・仙台と、各方面からの参加でした。

開会式には、千田理事長・芳賀副理事長から、それぞれ、「今日は好天の中、松林に囲まれたこの自然の中で、スカウト達やリーダーと一緒に一日楽しんで下さい。」と挨拶があり、木村リーダーの指導のもと、次から次へとゲームが展開されました。汗が吹き出てくる忙しさ、ゲームで負けて悔しくて泣いてしまった男の子もいるなどして、次のゲームになかなか進まなかった事や、また、親子の息がぴったりでいつもゲームは上位にいる組もありました。

楽しみの昼食では寺本委員の作ったバナナの皮の中にチョコレートとバナナを小さく切ったものと、マシュマロを金網の上で焼いて溶けたチョコとマシュマロにバナナをつけて食べる、これがなんと不思議な味。子供達は大喜びで「お母さん、家でも作って」という女の子。おいしかった。自然の家の奉仕員の大学生も 3 杯おかわりしたっけね・・・。

キャンプファイヤーでは、ソングマスターの武山君がとても進行がうまく、火がどんどん燃え上がると同時に会場みんなの楽しそうな笑い声も大きく、夜空に響き渡りました。

火が下火になった頃、新沼アダルトリソーシス委員長より、各親子に写真入りの参加証が渡され、事故もなく無事終了しました。

父兄の声：良い経験が親子でできて大変うれしかった。

自然の中で体を動かせたのが良かった。

隣の子供を誘ってきた甲斐があった。特に火おこしが楽しかった。

今日の参加者の中から何人か入隊の話があるといいね。（S リーダー）



スカウトセミナー開催 =平成 19 年度宮城第 1 期=

仙台地区アダルトリソーシス委員長 紺野 智博

スカウトセミナーは、6 月 10 日（日）仙台市高砂市民センターで、主任講師・鈴木美恵子日本連盟副リーダートレーナー、講師・小野幹治宮城県連盟トレーニングチーム員にて開催された。

受講者 26 名（仙台、名取、岩沼、泉、塩釜）と多くの出席の中、紺野仙台地区アダルトリソーシス委員長の司会進行で進められた。

村上県アダルトリソーシス委員長の、「今日一日、BS とはなんぞや、青少年の健全育成には私たちは何が必要なのか、勉強してってください。」との挨拶があり、続いて奉仕の方々との紹介があった。

その後、会場玄関前にて記念撮影。

（前の人に隠れて見えない人もいたよ。）

午後には、千葉県コミッショナーから挨拶と励ましのメッセージが

受付で渡された沢山の資料に参加者もびっくり。「今日一日長いなあ」と、一言。

でも、閉会式に指導者手帳と修了証を受け取ったときには、新たにボーイスカウト運動に力が入ったとの事。

ご苦労様でした。



北海道／東北ブロック・スカウトフォーラム報告

名取第1団 ベンチャー隊 大久保 良

1. 「テーマ」： 生きること、学ぶこと、私たちが明日に残すべきこと
サブテーマ： 社会に伝えるスカウト活動、後輩に残すベンチャースピリット
趣旨： 今、問題になっている、いじめのこと、スカウト年代を取り巻く環境を考え
スカウト活動から、何を学び考え、生きることとはどういうことなのか
未来を切り拓く「生きる力」について討議する

2. 開催日： 平成19年3月25日（日）～3月26日（月）

3. 会場：福島県青少年会館
福島県福島市黒岩字田部屋53-5

4. 参加者： 男子 14名 女子 8名
(北海道2名、青森県4名、岩手県2名、宮城県2名、秋田県2名、
山形県9名、福島県4名)

〈北海道／東北ブロック・スカウトフォーラムの感想〉

この北海道／東北ブロック・スカウトフォーラムに参加しての感想は、野外活動だけでなく話し合いをすることもきちんとしたボーイスカウト活動なんだなと思いました。

フォーラム自体では世界フォーラムやそのほかの大会などに出ている人が多くいてとてもためになることを教えてもらうことができました。

他には意見をまとめそれを模造紙に表現するコツなど討議の進め方などを教えてもらいました。フォーラムの話し合いは自分の班では午前3時頃まで話し合いをしました。みんなスカウトの精神やボーイスカウトとは何なのかと言ったことをよく考えていました。自分もその会議にしっかりと参加できていればよかったと思います。

これからはスカウト活動以外でもこの北海道／東北ブロック・スカウトフォーラムで学んだ事を生かして生活していきたいと思いました。

最後に、他県のベンチャースカウトと会い、話し合いや交流を深めたことは、今までしてきたスカウト活動には無く、参加した人にしかわからない楽しさだと思いました。



「東部地区ビーバーランド2007」

東部地区ビーバー委員長 寺本 栄子

東部地区ビーバーランドは15周年を迎えました。

記念事業で県内の各地域のビーバー隊との交流を考え、各団委員長に打診しました。結果、石巻第2団が参加してくれました。

4月1日に多賀城自衛隊の体育館を借りて、東部地区7個隊と石巻第2団、総勢130名で実施しました。

午前中は、体を使つてのゲーム、午後はお祭り屋台と変なおじさんも登場しました。

昼食は、自衛隊の食堂を利用させて頂きました。保護者の売店ツアーもできました。

とても楽しい一日でした。



スカウトの為に・・・

石巻地区アダルトリソーシス委員会 委員長 大沼 知光

宮城第4期スカウトセミナーを平成19年3月4日、石巻市河南「こもれびの降る丘・遊学館」にて、主任講師 佐藤友秀・日連リーダートレーナー、講師 高橋譲・日連副リーダートレーナー、松本公一・石巻地区コミッショナー、他3名のもと実施致しました。

いつもより多い20名（内・仙台地区より5名）ということもあり、これまで以上に真剣に取り組んでおられました。

また、スカウティングのアピールということで会場入り口にパネル展示、開所式を遊学館中心にある「こもれびの降る丘」という自然の中で行いました。



2007 ビーバー祭り・カブラリー

仙台地区広報委員 清水 美香



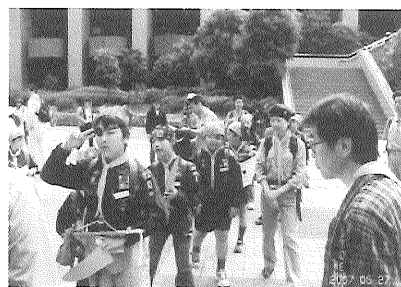
平成19年度仙台地区ビーバー祭り・カブラリーが、5月27日台原森林公園で開催されました。

参加団はBVS 5ヶ団 CS 7ヶ団。

午後から雨の予報が、集合時間9時を過ぎたあたりからポツリポツリ・・・一時は本降りになりかけましたが、皆の祈りが通じたのかスタートする頃には空が明るくなりました。

ビーバー隊は新聞紙で作った剣、おやつバナナ、ジュースを背負い、忍者となってハイキング。手裏剣投げ・アスレチック遊具など、坂道を楽しそうに駆け回っていました。

カブ隊は所要時間を設定されての追跡ハイク。各組毎に早すぎず遅すぎずのペース配分で地図を頼りにチェックポイントにたどり着き、問題に正解して宝物をゲットしゴールとなるはずが・・・。チェックポイントを数多くクリアし、さらに公園内の樹木や花までしっかり観察し回答する組あれば、宝物を探し出すだけでゴールする組ありと様々でした。心配していた迷子(?)やケガはなく皆が楽しく活動を終え閉会となりました。



いきいき団活動

たんぼに行こう

5月20日、仙台第12団のスカウト達は、今年で3回目の田植えを行いました。
場所は白石・下戸沢宿の奥、雪どけ水の流れてくる山の中にあつて、秋になると猿たちがおおぜいで押しかけて来ます。

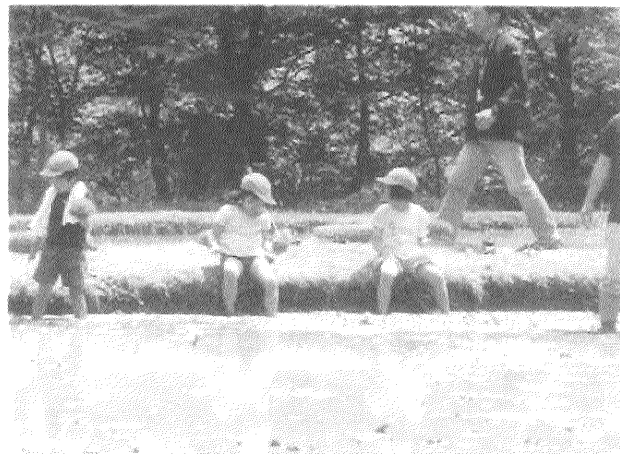
ボランティア活動で知り合つた80歳近い斎藤さんの所有地で、種まきから草取りや稲刈りの準備・脱穀までお世話になっています。

保護者・リーダーを含めて約40名、みんな転んだり、尻もちをついたり、泥にまみれながらの約3時間。植えた苗の列も乱れながら、400平方メートルの田植えは終わりました。

穀物を食べる大へんさと、大切さを感じながら、

仙台第12団 渡部 仁

秋の稲刈りと、B P祭で行う餅つきでこの活動は完了となります。



富士スカウトとして



名取第1団 ベンチャー隊 春日 沙和

私は、今回多くの方々の支えにより、富士章を受章することができた。

思い返せば、ボーイスカウトに入隊してから10年の月日が流れた。その間に経験し、学び得たことは数え切れない。山ほどのキャンプ、野外活動、ハイキング、清掃活動、施設への慰問など。ときには、辛いこと苦しいこともあった。しかし、それを乗り越えたときにはそれ以上の何倍ものうれしさや喜び、言葉では言い表せないほどの感動があった。そして、そこには私を支えてくれた方々がいた。共に困難を乗り越え、喜びを分かち合つた仲間、身近な目標でもあった先輩。頼りない私を慕つ

てくれる後輩たち。道に迷ったとき、その道を照らして正しい方向に導いて下さつた隊長。何よりスカウト活動をここまで続けさせてくれた両親。他にも感謝しきれないほどたくさんの方々がいた。

今回、富士章を受章することができ、これまで本当に多くの方々の支えと助けがあり、ここまで続けて来ることができたことを改めて実感することができた。

私は、この富士章を受賞できたことをうれしく思うと同時にこれを最終目標ではなく、一つの通過点であると考えたい。スカウト活動を通して得られた素晴らしい経験と最高の仲間は私にとって何よりも大切な宝ものだ。これからもそんな仲間たちとともに、富士スカウトとしての誇りと自信、そして常に感謝の心を忘れず、より一層スカウト活動に励んで行きたいと思う。



“voyage” 私は今、新たな志を胸に大海原へと飛び出した。

第21回世界ジャンボリー（21WSJ）派遣

開催地：イギリス（エセックスフォード『ハイランズパーク』）

開催日：2007年7月28日～8月7日

参加人数：世界から約40,000名 日本から約1,500名参加

派遣スカウト：18名

乙訓優之介（仙台第28団） 大友康太郎（仙台第28団） 高橋弘晃（名取第1団）

春日恒祐（名取第1団） 目黒沙織（名取第1団） 高橋 涼（名取第1団）

櫻井義孝（名取第1団） 鎌田新平（仙台第1団） 川田祥久（仙台第1団）

足利 光（仙台第1団） 蟻坂みどり（石巻第6団） 佐藤貢大（塩釜第1団）

岡山蒼馬（泉第1団） 渡邊英資（泉第1団） 神馬脩平（泉第1団）

京 洋平（仙台第37団） 東海林翔平（仙台第37団） 庄司逸人（多賀城第2団）

派遣指導者：7名

高橋 譲（石巻第6団） 佐藤友秀（石巻第6団） 小山 猛（仙台第1団）

加藤光雄（石巻第6団） 立野智美（石巻第6団） 大久保晃男（仙台37団）

大丸秀則（石巻第6団）

21WSJ派遣隊壮行会

7月20日（金） 午後3時30分頃より

宮城県庁に村井連盟長を訪問し出発前の挨拶を行う予定です。

宮城第2期スカウトセミナー開催のご案内

平成19年9月9日（日）

東部地区にて開催されます。（受講を希望される方は、県連事務局までお申し込み下さい。）

スカウティングの導入として、多くの方の参加申し込みをお待ちしております。

新事務局長就任のご連絡

5月13日の臨時理事会に於いて、空席だった事務局長が選任されました。

新事務局長 学識経験理事 山田洋司 氏

〒981-1104

仙台市太白区中田5-7-5-501

TEL 022-306-764

編集後記

豊かな緑に恵まれた蔵王の大自然の中に包まれての総会。

！より良いスカウティングを、より多くの青少年に！の基本方針を確認。

団活動の充実・活性化の方向づけを具現する事として終了。

東京での日本連盟全国大会に参加の席上に「塾に負けた！ボーイスカウト絶滅の危機」が3人のパネリストに依り論じられた。

いま、さまざまな視点から論じられ、皆で意見を出し合う事は今当然重要な事。

広報委員会に渡辺七郎理事が副委員長として着任。

週刊誌記事を書く危機感に南風を呼び込む一石の「スカウトみやぎ」をめざしてー。

協動と言う言葉も有るよ。

負けては、いかんよ。（堀）

■ 発行 日本ボーイスカウト宮城県連盟

■ 編集 宮城県連盟広報委員会

委員長 堀越祐寿

副委員長 渡辺七郎

委員長代行 柿沼富雄

高橋 修・久光和明

砂押名湖・大沼茂雄

〒981-0915 仙台市青葉区通町1-6-9

宮城県通町分庁舎内

TEL/FAX 022-234-2359

■ 印刷 株式会社小野寺印刷所